

神石高原 かがやきネット

電話機の活用でもっと便利に

町内IP電話 ※加入者間通話料金無料サービス

告知端末機と電話機をつなげると、「33」からはじまる「町内IP電話」が利用できるようになります。加入者間の通話料金は無料になりますので、ぜひご利用ください。

接続方法の例は右図のとおりですが、詳しい内容はお手数ですがお問い合わせください。



ページング放送 ※特定範囲放送サービス

振興会班内等へのページング放送が利用できます。会合等の開催案内にご活用ください。なお、利用できる方は、振興会班長などで、利用できる時間帯は、定時放送時間を除く午前6時から午後9時までです。

(※定時放送後15分間はご遠慮ください。)

かがやきネットなら

行政告知放送

も

テレビ放送

も

インターネット

も

ご利用いただけます。

お問い合わせ先 情報政策室 ☎0847-89-3352 (町内電話 33-89-3352)
株式会社ケーブル・ジョイ ☎0847-45-0557 (府中)
同上 神石高原事務所 ☎0847-89-0012 (油木)

ホームページ <http://www.ccjnet.ne.jp/~kagayaki/>

神石高原町立学校配置方針を策定

神石高原町教育委員会では、8月31日(水)に神石高原町学校配置検討委員会の答申を受け、「何が子ども達にとってよりよい教育環境なのか」を重点に置き、神石高原町学校配置方針を策定しました。

基本方針

1 望ましい学校設置数と

望ましい学校設置数は、小学校3校、中学校2校とする。しかし、通学時間や通学距離など状況が整わない現状では、当面小学校5校、中学校2校とする。

小学校は、引き続き複式学級の解消のため保護者等と協議していく。中学校は、神石・油木・豊松中学校を統合し、平成26年度中の開校をめざす。

2 学校の耐震化について

神石小学校は、早急に校舎建築を行う。統合計画のある中学校は、必要最小限の補修工事のみ実施する。

3 学校給食の

あり方について
今後新設する学校については、自校方式を基本とするが、有効な手段を早急に結論づける。



4 望ましい通学時間と通学距離及び通学方法について
一定距離もしくは時間を越える通学については、スクールバスなどの通学手段を整備する。
一定距離とは、小学校4キロ(低学年3キロ)中学校は6キロとする。
通学時間は、総通学時間を概ね40分以内とする。

5 寄宿舎に関する考え方

新設される中学校に寄宿舎を設置する。

6 連携教育について

「町内の子どもは町内で育てる」という精神のもと、保・幼・小・中・高連携教育を推進する。

7 今後の教育環境について

今後の教育環境を検討していくため、教育行政に町民意識をより反映させるための協議会を設置する。

「未来を拓く人と文化の創造」を実現させていくため、保護者・地域・関係者等の協力を求め、この方針を進めていくこととする。

皆さんのご意見ご要望をお寄せください。

●お問い合わせ先

神石高原町教育委員会 ☎89・3341

地域を変える新しい力

地域おこし協力隊活動だより

その3

地域おこし協力隊の活動を紹介していく連載コーナーです。

●地域おこし協力隊 2名となる

地域おこし協力隊がもう1名やってきました。10月3日(月)に町長から委嘱状を交付。本年度予定していた2名体制となり、今後、活動も本格化していきます。



委嘱状交付式

●新隊員ご挨拶

はじめまして、神石高原町地域おこし協力隊に10月より着任しました沖本成昭です。「若者達が魅

力を感じるまちづくり」をめざして頑張っていきたいと思えます。皆さまのご指導をお願い致します。
沖本成昭 (34歳) 広島市出身

●活動報告

地域おこし協力隊の谷口哲一です。今月も配属先である源流の里しんさかと上豊松をメインに各地の地域活動に参加しています。

上豊松の福山市伊勢丘地区住民との交流会ではたくさんの子も達も参加しました。また、源流の里しんさかでは、神石高原マルシェへの出店に参加。

今月からは地域おこし協力隊の活動も、新しい隊員の沖本さんが加わり、2人での活動となりますので、今後ともよろしくお願いたします。



子ども達と稲刈りをしました

食育ミニ知識 10月は食育推進月間です

毎月19日は食育推進の日

「食の安全」が求められる中で、学校、家庭や地域などで食育の推進に取り組むことが重要です。食育とは幅広い分野に関わっており、子どもから大人まで必要なものです。

- 例えば…
- * 食べ物がどこで、どうやってできているのかを知ること。
 - * 1日3食きちんと食べること。
 - * 地元の農業に興味を持つこと。
 - * 食事のマナーを身につけること。
 - * 伝統的な料理を継承すること。



神石高原町食育推進ネットワーク協議会 地産地消部会

この機会に、日頃の食生活を見直してみましよう。そして、みんなで一緒に「食」について考えてみませんか？